

事務事業実績測定調書

10422010004	公共施設維持管理補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500300	観光にぎわい部農業振興課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	22.農を守り、生かすまち	
	取り組みの方向	80.より新鮮で安全な農産物を供給するため、地産地消の推進や環境にやさしい農産物の普及・拡大を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1992 (H04) 年度		~		
根拠法令等	枚方市公共施設維持管理事業補助金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	土地改良施設が適切に維持管理されることで、農業生産基盤の維持が図られるとともに地域住民の安全につながっている。				
事業概要	土地改良区が実施する土地改良施設の維持管理事業等に対して支援する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	土地改良施設の維持管理に起因する地域住民の被害件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	0	0	0		
実績	0					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.40	0.35	0.30
正職員数	0.40	0.35	0.30
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,150	2,783	2,405
正職員人件費(換算額)	3,150	2,783	2,405
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	6,696	6,695	6,695
■事務事業の総計(千円)	9,846	9,478	9,100
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	9,846	9,478	9,100

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	土地改良区11地区が実施した土地改良施設の定期的な整備補修に対して補助を行った。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	農業の生産性の向上及びその保全と都市と農業の調和を図るため、引き続き継続した支援が必要。	

事務事業実績測定調査

10422010006	土地改良事業補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500300	観光にぎわい部農業振興課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	22.農を守り、生かすまち	
	取り組みの方向	80.より新鮮で安全な農産物を供給するため、地産地消の推進や環境にやさしい農産物の普及・拡大を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2004 (H16) 年度		～		
根拠法令等	枚方市土地改良事業等補助金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	農業団体が実施する農業生産基盤の整備等を支援することで、農業の生産性が向上し農空間の保全及び農業振興に資するとともに、水路等の適正な管理により地域住民の安全につながっている。				
事業概要	農業団体(土地改良区、水利組合、地域の水利団体)が実施する土地改良事業に対して支援するほか、老朽ため池改修事業の実施やため池ハザードマップを作成する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	農業生産基盤に起因する地域住民の被害件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	0	0	0		
実績	0					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.10	1.20	1.00
正職員数	1.10	1.20	1.00
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	8,661	9,541	8,017
正職員人件費(換算額)	8,661	9,541	8,017
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	20,146	22,717	37,777
■事務事業の総計(千円)	28,807	32,258	45,794
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	17,072
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	744
その他	0	0	19
一般財源	28,807	32,258	27,959

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者団体が実施する土地改良事業に対して、事業費の50%以内で補助金交付 19件 ・資材支給(農業者団体が施工する工事資材)の実施。 ・土地改良団体連合会の負担金等の支払。 ・老朽ため池改修事業(武生田池の改修事業。府事業により設計・施工、国、市、地元でその一部を負担)実施設計を実施。(令和2年度から工事实施) ・ため池ハザードマップ作成事業(水防ため池のハザードマップを全額国負担で整備)10池作成(令和2年度は6池作成) ・ため池新法(農業用ため池の管理及び保全に関する法律)に係る事務(届出の受付と府への送付)の実施。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	補助対象団体からの個別改修要望は今後も増大することが見込まれるため、事前に各団体の改修予定を集約し、予算の範囲内で計画的な基盤整備を促進する。	

事務事業実績測定調書

10422010007	穂谷地区農空間活用支援事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500300	観光にぎわい部農業振興課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	22.農を守り、生かすまち	
	取り組みの方向	80.より新鮮で安全な農産物を供給するため、地産地消の推進や環境にやさしい農産物の普及・拡大を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2007 (H19) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	北河内唯一の農業振興地域である穂谷地区に、多くの市民が訪れて豊かな自然環境や農産物等にふれあうことで、穂谷地区の農業振興や農空間の保全、地域の活性化につながっている。				
事業概要	<p>・「農」とふれあう収穫体験やコスモスの花摘み等、穂谷の豊かな自然環境を楽しむことができる「枚方の里山・収穫の秋穂谷」の開催を支援する。</p> <p>・コスモス・ひまわりなど景観形成作物の作付け面積に応じて補助を行う。道路に隣接する農地に一団あたり30a以上作付けし、花摘みなど市民が楽しめること等が要件。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	「枚方の里山・収穫の秋穂谷」の初参加の人の割合 【算出式】「枚方の里山・収穫の秋穂谷」の初参加者数/全体参加者数×100					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	20	20	20		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.20	0.20	0.30
正職員数	0.20	0.20	0.30
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,575	1,590	2,405
正職員人件費(換算額)	1,575	1,590	2,405
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,000	1,000	3,752
■事務事業の総計(千円)	2,575	2,590	6,157
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,575	2,590	6,157

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>・開催日時:10月13日(日) 参加者数:約8,000人 イベント内容:市民と地元農業者との交流事業として、さつまいもの収穫体験やコスモスの摘み取り、模擬店等の開設を行った。</p> <p>・景観形成作物(コスモス)の植付を農家(11件)が実施(35,411㎡)</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、農業者・市民・行政が協力して実施し、地域の活性化を図る。	

事務事業実績測定調書

10422010012	地産地消推進事業		
測定年度	2019(R1)年度	13500300	観光にぎわい部農業振興課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	22.農を守り、生かすまち	
	取り組みの方向	80.より新鮮で安全な農産物を供給するため、地産地消の推進や環境にやさしい農産物の普及・拡大を図ります。	
	実行計画事業名	エコ農産物普及促進事業	
総合計画体系②	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	22.農を守り、生かすまち	
	取り組みの方向	80.より新鮮で安全な農産物を供給するため、地産地消の推進や環境にやさしい農産物の普及・拡大を図ります。	
	実行計画事業名	地産地消推進事業	

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2012(H24)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	環境にやさしい枚方産の野菜やエコレンゲ米を学校給食へ供給することで、児童の健康の一助となり、食育に対する意識向上や地産地消につながっている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> エコレンゲ米を栽培するためのレンゲ種子購入に対して支援する。 農薬・化学肥料を5割以上削減して栽培した大阪エコ農産物の枚方産野菜やエコレンゲ米を学校給食に供給する。 				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	学校給食への枚方産野菜(大阪エコ農産物)やエコレンゲ米の供給割合 【算出式】枚方産野菜(大阪エコ農産物)やエコレンゲ米の購入量/全体購入量×100					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	11	11.5	12		
実績	10					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.45	0.45	0.45
正職員数	0.45	0.45	0.45
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,543	3,578	3,608
正職員人件費(換算額)	3,543	3,578	3,608
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	2,688	3,836	4,024
■事務事業の総計(千円)	6,231	7,414	7,632
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	6,231	7,414	7,632

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p> ≪枚方及び大阪産農産物購入割合≫ 野菜・米の全体購入量667.3トン(内訳…野菜479.0トン、米188.3トン) 地元及び大阪産の野菜・米の購入量188.1トン(内訳…野菜 39.3トン、米148.8トン) 枚方・大阪産農産物割合 28.2 % </p> <p> ・学校給食へエコレンゲ米を2ヶ月分、42,863Kg(玄米ベース)納入した。 </p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も食育への意識啓発や地産地消の推進に向け、引き続き事業を実施。	

事務事業実績測定調査

10422020002	経営所得安定対策等推進事業補助事業		
測定年度	2019(R1)年度	13500300	観光にぎわい部農業振興課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	22.農を守り、生かすまち	
	取り組みの方向	81.「農」を守るため、農業の担い手を育成し、本市での就農を促進するとともに、幅広い世代で「農」とふれあう機会の充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	1979(S54)年度		~		
根拠法令等	経営所得安定対策等実施要綱・経営所得安定対策等推進事業実施要綱 他				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	経営所得安定対策推進事業により農業従事者を支援することで、経営の安定が図られ、農地の維持につながっている。				
事業概要	枚方市農業再生協議会(市、JA北河内、農業委員会、大阪府農業共済組合で構成)の一員として、経営所得安定対策等推進事業の周知を行い、申請者に対し補助金を交付する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	経営所得安定対策等推進事業費補助金の交付決定人数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	20	20	20	20		
実績	21					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.60	1.08	0.80
正職員数	0.60	0.40	0.40
非正規職員数(計)	0.00	0.68	0.40
再任用職員数	0.00	0.20	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.48	0.40
■人件費総額(千円)	5,576	5,144	4,004
正職員人件費(換算額)	4,724	3,180	3,207
非正規職員人件費(計)	852	1,964	797
再任用職員人件費(換算額)	0	984	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	852	980	797
■直接経費(千円)	456	245	289
■事務事業の総計(千円)	6,032	5,389	4,293
国庫支出金	0	0	0
府支出金	1,363	1,225	1,086
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,669	4,164	3,207

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	105.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	枚方市農業再生協議会(市、JA北河内、農業委員会、大阪府農業共済組合で構成)の一員として、経営所得安定対策等推進事業の周知を行い、申請者21人に対し補助金を交付した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	国の制度である経営所得安定対策等を推進する必要があることから、引き続き事業を実施する。	

事務事業実績測定調査

10422020004	新規就農者育成支援事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500300	観光にぎわい部農業振興課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	22.農を守り、生かすまち	
	取り組みの方向	81.「農」を守るため、農業の担い手を育成し、本市での就農を促進するとともに、幅広い世代で「農」とふれあう機会の充実を図ります。	
	実行計画事業名	新規就農者育成事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2012 (H24) 年度		～		
根拠法令等	新規就農・経営継承総合支援事業実施要綱 枚方市新規就農者経営安定化支援事業補助金交付要綱 枚方市新規就農者サポート事業に関する要綱 枚方市新規就農者農地集積支援事業奨励金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	新たな農の担い手となる市民育成をサポートすることで、遊休農地の解消や都市農業のさらなる振興につながっている。				
事業概要	新たな担い手の掘り起こしを行い、就農につながるまでのフォローを行うとともに、認定新規就農者に対する補助金の交付や就農初期における技術指導のサポートや農地確保の支援等を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標				
指標の説明	遊休農地面積				
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位
目標(予測)	—	55	50	45	
実績	59				

a

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.90	0.80	0.40
正職員数	0.90	0.20	0.40
非正規職員数(計)	0.00	0.60	0.00
再任用職員数	0.00	0.60	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	7,087	4,543	3,207
正職員人件費(換算額)	7,087	1,590	3,207
非正規職員人件費(計)	0	2,953	0
再任用職員人件費(換算額)	0	2,953	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	10,916	11,780	14,812
■事務事業の総計(千円)	18,003	16,323	18,019
国庫支出金	0	0	0
府支出金	7,500	7,500	8,238
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	10,503	8,823	9,781

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・認定新規就農者が行う設備投資等に対し補助金を交付する「新規就農者経営安定化支援事業」の実施 ・サポート協議会の設置、専門知識・技能を有するサポーターの派遣など「就農後サポート支援」の実施 ・認定新規就農者への農地貸借に対し地主に奨励金を交付する「新規就農者農地集積支援事業」の実施 ・認定新規就農者に対して、農業次世代人材投資資金の給付の実施 ・農業に関心のある市民の方に体験型農園での野菜作りに親しんでもらい、新たな担い手の育成につなげる「ちょっと本気の野菜作り講座」の実施。 	
今後の方向性	改善	
具体的な 今後の取組方策	農業に関心のある市民に体験型市民農園での野菜づくりに親しんでもらうパイロット事業(ちょっと本気の野菜づくり講座)を実施しており、より効果的な事業実施に向けて見直しを行うとともに、グループ営農の仕組みについても検討を行う。	

事務事業実績測定調書

10422020005	多面的機能支払交付金事業		
測定年度	2019(R1)年度	13500300	観光にぎわい部農業振興課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	22.農を守り、生かすまち	
	取り組みの方向	81.「農」を守るため、農業の担い手を育成し、本市での就農を促進するとともに、幅広い世代で「農」とふれあう機会の充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2013(H25)年度		～		
根拠法令等	多面的機能支払交付金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	集落機能の維持向上や地域主体の保全管理の取り組みを支援することで、農地・農業用水等の資源の適正な保全管理が行われ、農地の多面的機能の保全につながっている。				
事業概要	国の事業である「多面的機能支払交付金」を活用し、集落機能の維持向上や地域主体の保全管理の取り組み強化につながる農地・農業用水等の資源の保全管理活動を支援する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	支援した地域の遊休農地の割合 【算出式】支援した地域の遊休農地面積/全体農地面積×100					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	0	0	0		
実績	0					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.40	0.40	0.30
正職員数	0.40	0.40	0.30
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,150	3,180	2,405
正職員人件費(換算額)	3,150	3,180	2,405
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	766	766	766
■事務事業の総計(千円)	3,916	3,946	3,171
国庫支出金	0	0	0
府支出金	574	574	574
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,342	3,372	2,597

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>穂谷地区農空間保全協議会が活動している区域内には、農地2,473a、水路6.8km、農道5.4km、ため池3箇所があり、交付金を維持管理事業等の管理に係る活動費として賄っており、適正な維持管理・集落機能の強化と自然環境保全に取り組んでいる。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律に基づき、引き続き事業に取り組む	

事務事業実績測定調書

10422020009	農業振興事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500300	観光にぎわい部農業振興課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	22.農を守り、生かすまち	
	取り組みの方向	81.「農」を守るため、農業の担い手を育成し、本市での就農を促進するとともに、幅広い世代で「農」とふれあう機会の充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1994 (H06) 年度		~		
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法、決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	意欲的な農業者を支援することで、農地を適正に管理するとともに、地場産野菜の普及(販売の拡大)等につながっている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域農政推進対策事業(農業経営基盤強化促進法に基づく事務等) ・利用権設定や認定農業者等に係る事務 ・生産緑地について、買取・追加の協議等 ・エコ農産物の普及啓発や水稻種子消毒の普及 ・直販事業や農業施設設置に対する支援 ・直販会や品評会等の開催 ・特産物の創出や販路拡大に向けた取り組み 等 				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	農地台帳面積					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	ha
目標(予測)	—	608	608	608		
実績	608					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.40	0.40	1.00
正職員数	0.40	0.40	1.00
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,150	3,180	8,017
正職員人件費(換算額)	3,150	3,180	8,017
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	2,772	2,714	19,610
■事務事業の総計(千円)	5,922	5,894	27,627
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	10,389
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,922	5,894	17,238

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>①地域農政推進対策事業 ・利用権設定面積 393筆 32.46haとなった。 ・大阪版認定農業者(府が認定)の申請受付を行った。</p> <p>②生産緑地について、買取・追加の協議等を行った。</p> <p>③農業者への営農指導及び水稻種子消毒を行った。</p> <p>④地場産野菜の普及及び販売機会の拡大のため近くに在住する農業者が野菜販売を行う「フレッシュ野菜プチマルシェ」として、楠葉生涯学習市民センターで朝市を3回、牧野生涯学習市民センターで夕市を5回行った。また、津田生涯学習市民センターでは、料理教室の食材提供を2回行った。</p> <p>⑤平成30年度の台風21号により被害を受けた農業施設の復旧補助金を4件の被災農家の交付した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	農地の有効利用、保全を図るため継続する。	

事務事業実績測定調書

10422020012	農業ふれあい体験事業		
測定年度	2019(R1)年度	13500300	観光にぎわい部農業振興課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	22.農を守り、生かすまち	
	取り組みの方向	81.「農」を守るため、農業の担い手を育成し、本市での就農を促進するとともに、幅広い世代で「農」とふれあう機会の充実を図ります。	
	実行計画事業名	農業体験拡充事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1994(H06)年度		~		
根拠法令等	枚方市ふれあいツアー推進協議会規約				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	農作物の収穫体験等を通じて市民の農業への理解や関心が高まるとともに、地産地消の推進につながっている。				
事業概要	農家が栽培した農産物の収穫体験イベントの実施や、小学生を対象とした食農体験学習(農作物の植え付け、収穫、試食など)を実施する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	ふれあいツアーに初参加する人の割合 【算出式: 初参加者数/参加者数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	-	30	30	30		
実績	-					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.50	0.50	0.70
正職員数	0.50	0.50	0.70
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,937	3,976	5,612
正職員人件費(換算額)	3,937	3,976	5,612
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,470	1,470	2,750
■事務事業の総計(千円)	5,407	5,446	8,362
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	475
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,407	5,446	7,887

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>「ふれあいツアー」を開催(9地区・18回・参加者2,655人) 作物種別(キャベツ、たまねぎ、じゃがいも、トウモロコシ、枝豆、さつまいも、黒豆の枝豆、大根)</p> <p>「小学生食農体験学習事業」の実施 農作物の植え付けから、収穫、加工・試食までを行う食農体験学習を市内小学校13校(米11校、もち米1校、サツマイモ1校)で実施し、1032人の児童が参加した。</p>	
今後の方向性	改善	
具体的な 今後の取組方策	<p>農業者の高齢化、後継者・担い手不足により農家への負担が大きく、また都市化に伴う農地の減少により継続が困難になってきているため、効果的な事業実施に向けて実施方法などの見直しを検討する。</p>	

事務事業実績測定調査

10524010016	農業被害対策事業		
測定年度	2019(R1)年度	13500300	観光にぎわい部農業振興課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち	
	取り組みの方向	84.市民が、日常生活の中で自然とふれあい親しめる場を確保するため、まちなかのみどりや、子育て世帯など幅広い世代の人々にとって憩いの場となる公園、河川敷などの緑地空間を守り、創出します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	2017(H29)年度		~		
根拠法令等	枚方市農業被害防止対策連絡協議会規約				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	有害鳥獣(イノシシ)の捕獲処分により、農業被害がなくなり、安全な耕作につながっている。				
事業概要	有害鳥獣(イノシシ)の捕獲処分を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	有害鳥獣(イノシシ)による農業被害額					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	千円
目標(予測)	—	150	100	50		
実績	200					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.05	0.05	0.05
正職員数	0.05	0.05	0.05
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	394	398	401
正職員人件費(換算額)	394	398	401
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	350	350	350
■事務事業の総計(千円)	744	748	751
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	744	748	751

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	大阪府猟友会に委託し、イノシシ39頭(749kg)を捕獲した。	
今後の方向性	拡充・重点化	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、大阪府猟友会に委託し、有害鳥獣(イノシシ)の捕獲処分を行う。 また、イノシシ以外の有害鳥獣も含め、被害農家からの鳥獣被害報告書を提出していただけるよう、周知を強化することと、被害状況を正確に把握し、併せて効果的な対策について検討を行う。	

事務事業実績測定調書

10999990029	農業振興課運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500300	観光にぎわい部農業振興課
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各種庶務事務等を正確かつ迅速に執行することで、農業振興課所管事務を適正かつ円滑で効率的に執行する。				
事業概要	課の運営事務(照会回答業務含む)				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—		

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.80	0.50	0.85
正職員数	0.30	0.50	0.50
非正規職員数(計)	0.50	0.00	0.35
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.50	0.00	0.35
■人件費総額(千円)	2,835	3,976	4,009
正職員人件費(換算額)	2,362	3,976	4,009
非正規職員人件費(計)	473	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	473	0	0
■直接経費(千円)	520	1,033	5,523
■事務事業の総計(千円)	3,355	5,009	9,532
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	46
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	13
一般財源	3,355	5,009	9,473

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>【農業振興課運営事務】市議会関係、行政評価関係、H-EMS、農業委員会関係、開発協議・指導事務、農業振興地域指定・農空間保全地域関係、その他</p> <p>【農業振興課内庶務事務】予算・決算関係事務、物品購入及び契約関係事務(財務会計システム)・文書関係事務、職員の服務・給与・休暇に関する事務等</p> <p>【その他事務】大阪府治山治水協会負担金、大阪府農業共済組合維持管理負担金、大阪府農業会議負担金、大阪府農空間整備推進協議会負担金、農業振興協議会負担金(エコ部会含む)、津田地蔵池オアシス共園維持管理業務負担金、大阪府ため池総合整備推進協議会負担金の支出、試行事業検討、会議体の再編</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	現状のまま維持しつつ、事務の効率化を図る。	